

舞鶴市議会議員 川口たかふみ 活動報告

活動報告

たか文

令和4年7月11日発行 第6号

発行/川口たかふみ後援会 〒625-0014 舞鶴市字鹿原8-15 Tel・Fax(0773)62-2002

E-mail: maizuru_taka_kawaguchi_2002@outlook.jp HP: https://kawaguchi-kouenkai.jp/



住みたいまち「舞鶴」の実現

ご挨拶

盛夏の候 皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

平素から、「川口たかふみ」及び「川口たかふみ後援会」に対しまして、格別のご高配を賜っております事に、衷心より御礼申し上げます。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化しており、コロナ禍と相まって我が国の経済活動にも大きな影を落としています。一日も早いウクライナ情勢の平和裏な終結と新型コロナウイルス感染症の終息を祈念いたします。

私の議員活動は、皆様方の温かいご支援とご教示の賜物であることを忘れず、今後の活動に邁進し皆様とともにこの難局を乗り越え、今まで以上の地元舞鶴の発展を目指してまいります。引き続きのご指導、ご鞭撻をいただけますよう御願ひ申し上げます。

舞鶴市議会議員 川口 たかふみ



川口たかふみ 議員履歴

- 【所属会派】●創政クラブ議員団(2019.11～2020.11 創政クラブ議員団幹事)
- 【委員会】●2018.12～ 予算決済委員会 委員 ●2019.11～2020.11 議会運営委員会 委員
- 【常任委員会】●2018.12 産業建設委員会 委員 ●2019.11 市民文教委員会 委員
- 2020.11 福祉健康委員会 副委員長 ●2021.11～ 総務消防委員会 委員
- 【特別委員会】●2018.12～ 原子力防災・安全等特別委員会 委員(2019.11～副委員長)
- 2019.11～2020.11 議会活性化特別委員会 委員
- 2020.2～2020.11 市内造船事業に関する調査特別委員会 委員
- 2020.4～2020.11 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員

舞鶴市議会議員 川口たかふみ プロフィール

- 新舞鶴小学校～志楽小学校～白糸中学校 卒業
- 1981年3月 東舞鶴高等学校 卒業
- 1985年3月 国士舘大学法学部 卒業
- 同 海上自衛隊入隊(85期一般幹部候補生)
- 2007年8月～2009年7月 潜水艦あらしお艦長
- 2017年4月 海上自衛隊 定年退官
- JMUディフェンスシステムズ(株)入社
- 舞鶴営業室 情報セキュリティ担当
- 2018年9月 同上 退社
- 2018年11月 舞鶴市議会議員 初当選

電力の安定供給を求める意見書を可決

様々な要因から電力の安定供給と電気料金の高騰が懸念される中、次の意見書を可決しました。

【電力の安定供給を求める意見書(要旨)】

平成28年4月から、電気の小売業への参入が自由化され、全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになった。消費者のライフスタイルや価値観に合わせて、安心して自由に選択できる環境が整備されてきたと認識している。

しかしながら、昨年からの市場調達する電気の価格高騰などから、新規に参入した電気事業者の撤退が増加していることに加え、多くの新電力は、自前の発電設備を持たず、日本卸電力取引所で電気を調達し販売している状

況にある。

また、昨年からの液化天然ガスの価格上昇に、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も重なり、本年4月の平均市場価格は、昨年同月の2.7倍に膨らんでいる。

今後の輸入による燃料調達の程度によっては、さらに厳しい電力需給が想定され、エネルギー政策に大きな責任を持つ国の役割が重要であることから、早急に下記事項の実施を求める。

- (1) 電力需給の安定的運用及び電気料金の高騰抑制策を早急に進めること。
- (2) 小売電気事業者への参入基準の検証を行うこと。

6月2日、6月29日 会派を代表し討論に登壇(要旨)

*公式の議事録ではありません。詳細は舞鶴市HPでご確認ください。

第33号議案「令和4年度舞鶴市一般会計補正予算(第1号)」

本件は、長引くコロナ禍で大きな影響を受けた方々への支援策として、国の交付金を財源に、物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対して、児童一人当たり5万円の特別給付金を支給するもの。本市の雇用と経営の安定化を図るため、経営が悪化した市内中小企業に対し、雇用維持のための事業主負担の一部を助成するもの。コロナ対策に取り組む市内飲食店を応援する「まいづるグルメクーポン2022」を発行する、計1億3,450万円の補正予算である。



討論の風景 2022.6.2

本市においては、新型コロナウイルス感染症の発生は減少傾向がみられているが、新たな変異株の発生など予断は許されず、引き続きの注意は必要である。さらには、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻の長期化や、世界的な気候変動の影響等により、食料品、燃料など生活必需品の高騰も続いている。このような情勢において、首をすくめ、身を縮めているだ

けではなく、困っている方々を支援するとともに、消費を活性化していく方策が必要と思料する。本、第33号議案は、時期を得た適切な予算と考える。

補正予算成立後は、速やかに執行されること、消費行動を起こしやすい舞鶴市の経済活性化気運醸成にも取り組まれることを申し添えて、賛成討論とする。(第33号議案のみ6月2日に実施)

第34号議案「令和4年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)」

本件は、新型コロナウイルス感染症対策として、生活困窮世帯への支援を延長する「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業」、保育施設等の感染症対策の充実・強化を図る「児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症防止対策経費」、4回目のワクチン接種を安全・円滑に行うための「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費」や、観光需要回復と地域消費拡大を促進するため、クーポンの発行を行う「観光周遊促進クーポン発行事業費」、安全・快適な保育環境づくりを促進し、子育て支援の充実を図る「私立認定こども園等施設整備事業費補助金」などの事務事業費を追加するものです。

必要かつ適切な補正予算であり、迅速に対応されているものと評価する。

第31号議案、32号議案及び第34号議案から第38号議案の全7議案に賛成する。

第39号議案「令和4年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)」

本件は、国庫支出金と府支出金、計3億7,130万円を財源に、諸物価の高騰に大きな影響を受けている事業者や市民の皆さんを支援する具体的な対策を講じるものである。

令和4年度に新たに住民税均等割りが非課税となった世帯を対象に追加、対象1世帯当たり10万円の現金給付を行う「臨時特別給付金給付事業費」はじめ、京

阪神との広域交通手段である高速バスの維持・確保のための「新型コロナウイルス感染症対策高速バス維持確保支援奨励金」、市民生活および小売サービス業を支援する「まいづる小売サービスプレミアム商品券2022発行事業費」、学校給食を現在の保護者負担額で維持する取り組み「学校給食費高騰緊急対策事業費」などである。

必要かつ適切な補正予算であり、迅速な対応と評価し賛成する。

6月16日 一般質問に登壇(質問等の概要)

*公式の議事録ではありません。詳細は舞鶴市HPでご確認ください。

【休校、学級閉鎖でのICT活用状況について】

質問 コロナウイルス拡大傾向の中、本市でも休校や学級閉鎖が余儀なくされた。この間の自宅学習でICT活用は十分図られたか?

答弁 ICT端末を活用して、学習指導や健康観察、課題の配布等を行った。休校や学級閉鎖が長期にわたる場合には、オンライン授業を実施したり、家庭での学習内容について指示したり、発達段階に応じた学習指導を行っている。

質問 学級閉鎖などに至らなくとも、少数の児童生徒が登校できない場合もあったのではないか。そのような少数の児童生徒にもICTを活用した学習指導は行われたか、また、現在行われているか?

答弁 授業の様子を動画配信したり、放課後に担任と個別にICT端末をつなぎ、体調を確認したり学習課題を伝えたりと、少数の児童生徒が登校できない場合であっても行っている。



一般質問風景 2022.6.16

【学校図書館(図書室)の整備計画等について】

質問 今年度から始まった「第6次学校図書館図書整備等5か年計画」の更新点の概要を問う。

答弁 蔵書冊数の学校図書館図書標準の達成とともに、新聞の複数配備に努めること、学校司書の配置拡充を図ることなどが示されている。

質問 本市小中学校の学校図書館図書標準達成率の状況は?

答弁 蔵書冊数が達成できているのは、小学校11校で61%と京都府平均70.4%を下回り、中学校では4校で57%と京都府平均41%を上回っている。

質問 学校図書館の充実整備に向け、配備する図書・新聞についての本市の考え方を問う。

答弁 新聞については、現在各校1紙の配備だが、学校図書館が児童生徒の言語能力、情報活用能力等の育成を支え、主体的で対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割が担えるよう複数紙配備に取り組んでいく。

質問 本市の司書教諭・学校司書の配置状況は?今後の日知方針は如何?

答弁 司書教諭は、配置が義務付けられている12クラス以上の学校全てに配置できているが、学校図書館を活用した教育活動の支援を専任で行う学校司書は配置できていない。今後、整備等計画に掲げられている目標達成に努めていく。

質問 司書教諭の有資格者は何人おられますか?市独自で養成する考えなどはないか問う。

答弁 今年度有資格者は43人。大学などで開設される司書教諭育成講座の受講を促し、計画的に司書教諭を養成していきたいと考えている。

【教員の充足等について】

質問 本市の教員充足の状況は如何?

答弁 令和4年4月の時点で、市内小学校で4人の常勤講師が配置できていな

かった。その後新たに2人の非常勤講師を配置できたが、常勤講師の確保は非常に厳しい状況である。

質問 文部科学省は学校の働き方改革を進めるため、①部活動は、部活動指導員の配置を進める。②学校行事の精選(選りすぐり)と見直しを求める。との要請を出されたと聞き及んでいる。教員不足解消の一助としての、教員の負担軽減の意味もあると思料する。そこで問う。部活動指導員はどのような立場で、どのような業務に従事するのか?

答弁 市が任用する会計年度任用職員の立場で、中学校におけるスポーツや文化等に関する教育活動に係る技術的な指導とともに、日常的な生徒指導に係る対応についても、学校と交流しながら従事する。

質問 本市の部活動指導員の配置状況は?

答弁 合唱部、卓球部、ソフトボール部、柔道部、野球部、陸上部にそれぞれ1人が配置。

質問 部活動指導員の今後の活用に関する本市の考えを問う。

答弁 継続的・専門的な指導による競技力向上に加え、生徒の豊かな人間性を育て、個性や可能性を伸ばすとともに、教職員の働き方改革にもつながるように取り組んでいく。

質問 本市では、学校行事の内容・準備の見直しや簡素化に、どのように取り組まれてきたかを問う。

答弁 育成を目指す資質・能力を踏まえて、教育課程や学校行事などの見直しを進めている。児童生徒にとって、その行事等が必要かどうか、見直しが必要かどうかを大切に検討してきた。

【災害時の避難所への(学校の)教室利用について】

質問 今年度から始まった「第3次学校安全推進計画」の更新点の概要を問う。

答弁 全ての児童生徒が「自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう」という言葉が追加。基本的方向性として、全ての学校における実践的・実効的な安全教育の推進。地域の多様な主体と密接に連携・協働し、子供の視点を加えた安全対策の推進などが求められている。

質問 「第3次学校安全推進計画」への本市の取組、考え方を問う。

答弁 地域の自主防災組織との連携を図ることや、市の防災訓練と連携し取り組んでいく。また、災害発生時における体育館や教室等学校施設の利用については、本市地域防災計画に基づき、地域の自主防災組織と連携のもと、適切な避難所運営に取り組んでいく。

活動の1コマ **4/22 FMまいづる「ななこ ちゃったラジオ」出演**

「ななこ ちゃったラジオ」では、舞鶴市議会議員が持ち回りで出演し、いろいろな方面から市議会の情報発信を行っています。私の出演は 3回目となりました。今回は、放送を挟み 4月17日に実施、24日に実施予定の「市民と議会のわがまちトーク」についてお話をさせていただきました。

同日出演の鯛議員、鴨田議員、川口

川口たかふみ後援会
ご入会のお願い

誠実で何事にも一生懸命取り組む人柄と、海上自衛隊・潜水艦艦長のキャリア礎に、私たちのまち舞鶴の発展に取り組む「川口たかふみ」君をサポートし、舞鶴のために皆様と一緒に「川口たかふみ」君を育てていく後援会にご賛同頂き、ぜひご入会いただきますようお願い申し上げます。なお、後援会ホームページからも入会手続きができます。また、活動報告もご覧いただけますので、ぜひホームページにもお立ち寄りください。

川口たかふみ後援会 会長 福村 てるし

川口たかふみ後援会事務所 ご案内

〒625-0014 舞鶴市字鹿原8-15
Tel・Fax (0773)62-2002
E-mail : maizuru_taka_kawaguchi_2002@outlook.jp
HP : https://kawaguchi-kouenkai.jp/

	月	火	水	木	金
9時~12時	○	○	○	×	○
13時~15時	○	×	○	×	○

*祝日休
*業務の都合により時間内でも不在の場合もあります。ご了承ください。

川口たかふみ後援会事務所

★お気軽にお立ち寄りください